

東北再生「私大ネット36(サンリク)」の設立について

2012.2.24：記者発表資料：東北再生「私大ネット36」

本日2月24日、都内ホテルにおいて「私大ネット36」に賛同する全国の私立大学・短期大学の有志22校が懇談会を開催し、会の運営方針の概要について了承するとともに、会長に広島女学院大学長尾ひろみ学長、事務担当校大正大学を選出し、4月1日付で発会する運びとなった。

この「私大ネット36」は、東日本大震災後の東北復興（主に三陸沿岸地域）にあたり、今後10年間の継続的な支援活動を教育的視点から実施することを目的とし、加盟校がゆるやかに連携しながら自由に独自性のある活動が円滑に実施できる環境を創出していくために組織化しようとするものである。

また、我が国の次世代を担う加盟校の学生が、現地に集い、交流する中で、ボランティアや研修・学習活動を体験することによって、社会的視野の拡大と人間としての成長を期待していることが加盟校共通の願いである。

活動拠点と教育活動

私大ネット36の活動の拠点を南三陸入谷地区に建設が予定されている「南三陸研修センター」に置く。

このセンターは、活力ある「南三陸」をめざし地元有志が発起・一般社団法人を設立して、宿泊・研修施設（100名収容）を7月末日を目途に一部完成される予定のものである。

「私大ネット36」の活動は、南三陸町のみには限定するものではない。宿泊の拠点をこの研修センターとすることによって、加盟大学の組織的な奉仕活動や教育活動が円滑に行われることが期待される。「私大ネット36」の活動は、各大学の特色を活かした自由なものであるが、基本的には自治体や地域住民の期待や要望に基づいて実施される。また、複数の大学がひとつのテーマと目標を掲げて、協力・連携し合って一定の成果をあげていくこともできると考える。

さらに、「南三陸研修センター」を拠点として、地方の有識者・協力者による地域独自のボランティア活動や研修・学習プログラムを計画している。「私大ネット36」の加盟校は、オプションとしてこのプログラムを受講することができる。各大学は、センターから一定の学習成果の報告を受けて、独自の判断により単位認定することも可能としたい。

活動の期間と地域

「私大ネット36」は、その名の通り36校の加盟を目標（2月24日現在、22校が加盟）とし、活動期間は平成24年7月から10年間としている。順次見直しや一部加盟校に変更があったとしても、この間安定した活動を行うことができる組織として万全な体制を整えていきたい。

また、活動地域については、震災直後から東北の各地域において組織をあげて継続的に支援活動を行っている大学があることから、南三陸町以外の三陸沿岸地域に新たな拠点づくりを目指し、さらに多くの大学・短期大学の参画を促していければと考える。

さらに、こうした大学・短期大学による東北復興への取組に対して、国や自治体の理解や評価を基に、支援や助成を切に願うものである。

この件に関する問い合わせ先

東北再生「私大ネット36」事務担当校

大正大学 事務局長 柏木正博・渡辺・上田

〒170-8470 豊島区西巣鴨3-20-1

電話03-3918-7311(代) FAX03-5394-3037